

「井之川中学校の諸田鍬踊り伝承活動の取組」

1 学校名

徳之島町立井之川中学校

2 学年・人数

1年生から3年生（計32人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年9月27日（水） 井之川中学校体育館

令和5年10月11日（水） 井之川中学校体育館

令和5年10月16日（月） 井之川中学校体育館

令和5年10月24日（火） 井之川中学校体育館

(2) 発表の日時・場所

令和5年11月2日（木） 井之川中学校体育館（文化祭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

諸田鍬踊り（しょだくわおどり）

(2) 由来

由来は、はっきり分らないが、大正時代の末期から昭和の初期に家畜商人がある集落で習って、諸田の青年団に教え広め、行事等で踊るようになり諸田集落に定着した。また、歌の内容は「村の興廃は農業にかかっているの、農村青年の力で集落や徳之島、ひいては日本を元気に発展させること、心の深さは成功の源、今日のお祝いを記念として骨身惜しまずお国の為に尽くしましょう」と結んである。

(3) 構成等

男性と女性に分かれて2列の円を作って踊る。男性が外側、女性が内側で、進行方向は逆となる。両手に持った鍬とカマを合わせたり、男性と女性の鍬を打ち合わせたりして音を鳴らす。円の中央では島太鼓チヂンを打つ。曲調はゆっくりから、だんだんと速くなる。

5 保存会や地域との連携の具体

2008年から諸田の有志の皆さんの指導の下、鍬踊りを井之川校区の郷土芸能の継承を目的とし、文化祭（学習発表会）で生徒と職員が踊っている。諸田には保存会は存在していないが、鍬・カマ・衣装・チヂン・音楽CD等は区長が持ち回って保存している。

本年度は9月27日と10月16日の2回、地域の有志の皆さんが来校し、生徒・職員への踊りの指導をされた。今後の地域での継承については、検討中のようだ。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

総合的な学習の時間において、郷土伝統の体験・表現する学習を設定した。目的は、郷土に伝わる踊りについて、地域の方等から学び、自ら踊って体験的に表現することで、伝統を守り、継承することの大切さについて考えることができるようにすることである。

また、地域の方々の指導の下、全学年で練習を行った。練習の様子は保護者にメールで配信した。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【諸田の有志の皆さんによる指導の様子】



【文化祭で発表する様子】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【生徒】

- ・ 踊りの隊形づくりが難しかったが、できるようになった。
- ・ 最初できるかどうか不安だったけど、伝統を引き継ぐことができよかった。

【保護者】

- ・ 一生懸命練習したことが発表に表れていた。

【諸田の皆さん】

- ・ 生徒による学校での発表があるので、地域で鍬踊りの確認をすることができる。今後も、生徒に文化継承してほしい。

【教職員】

- ・ 指導された有志の皆様が高齢になりつつあり、鍬踊りの継承を心配する声があった。文化祭での発表は隔年であっても、本校の果たす役割は大きい。
- ・ 伝承してくださった皆様の中に、今年度は本校の保護者がいらしたことが心強い。
- ・ 今後も生徒、地域、職員が協力し、鍬踊りを継承していきたい。
- ・ 文化祭だけでなく、その他にも発表できる機会があればよいと思う。